

STOP! 転倒災害

群馬労働局 労働基準部 健康安全課



群馬県のマスコット {ぐんまちゃん}
許諾第 30-100152 号

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性があります。

職場での転倒の危険性は、働くすべての人が問題意識を持って原因を見つけ、対策をとることで減らすことができます。

転倒災害防止対策により安心して作業が行えるようになり、作業効率が上がります。

できるところから少しずつ取り組んでいきましょう!!

テントウムシ
(転倒無し)運動
実施中!!



平成29年における「転倒災害」は、休業4日以上[※]の労働災害の中で**20.4%**を占め、**ワースト1位**となっています。

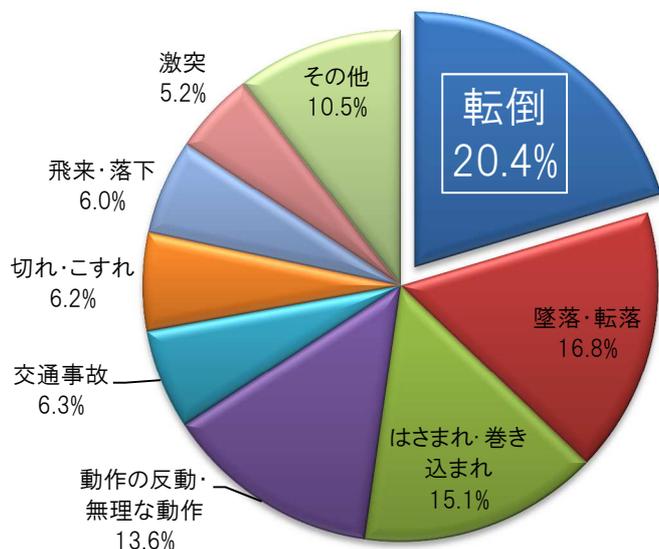


図-1 全産業での事故の型別労働災害発生状況(平成29年)
資料:労働者死傷病報告

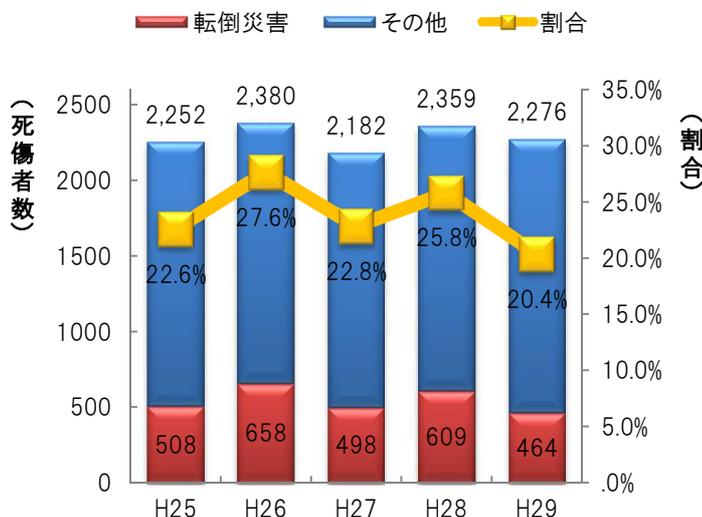


図-2 転倒災害の年別推移(平成25年~平成29年)
資料:労働者死傷病報告

転倒災害は、**製造業**で多く発生していますが、第3次産業では**小売業**、**社会福祉施設**、**道路貨物運送**の順で多くなっています。

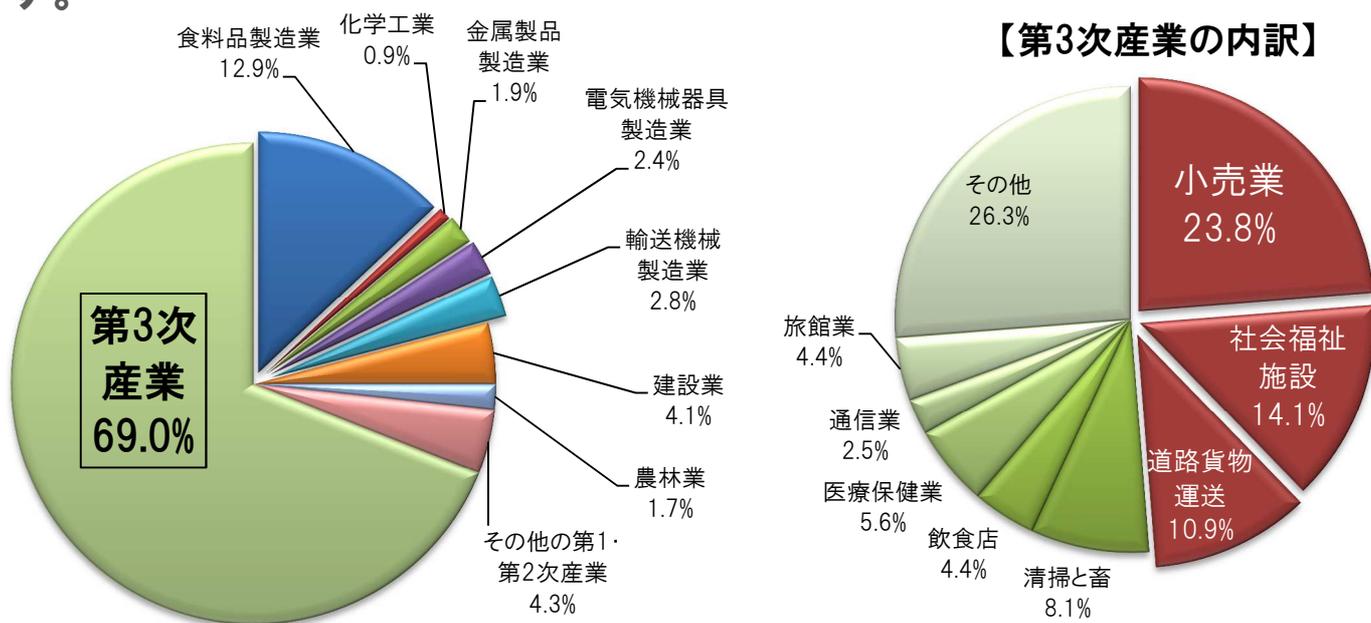


図-3.4 業種別労働災害発生状況(平成 29 年)
資料:労働者死傷病報告

「転倒災害」は**50歳以上**で**全体の約7割**を占めています。これは加齢による体力の衰え・身体機能の低下が考えられます。また、一般的に女性は男性より筋肉量が少ないこともあるため、転倒時の衝撃を和らげることができず、まともに大きな衝撃を受けやすいので注意が必要です。

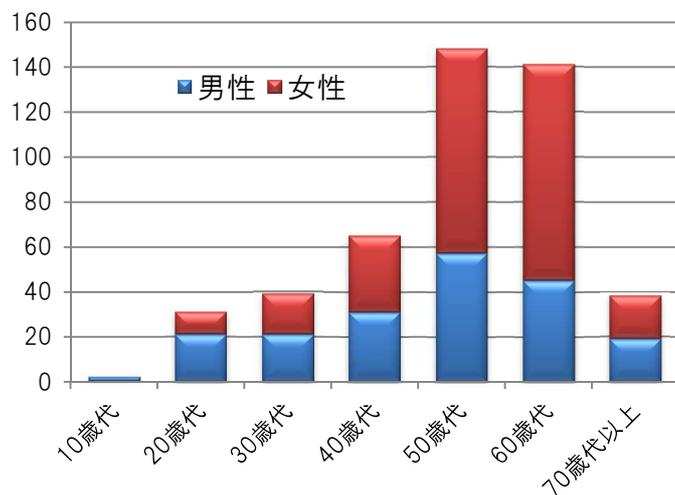
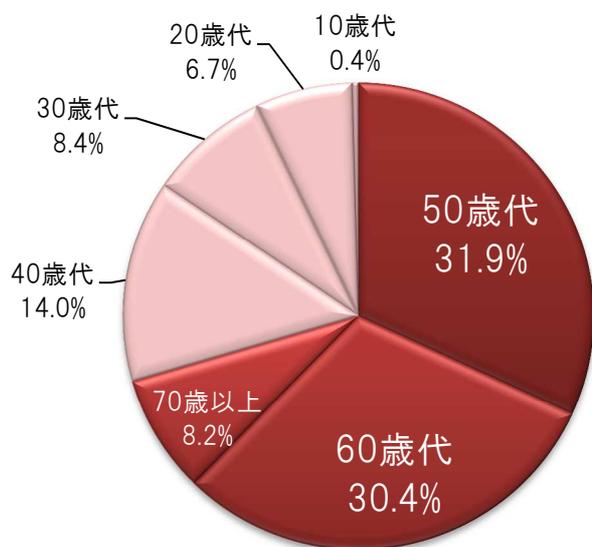


図-5 転倒災害における年代別労働災害発生状況(平成 29 年)
資料:労働者死傷病報告

図-6 転倒災害における年代別性別労働災害発生状況(平成 29 年)
資料:労働者死傷病報告

転倒災害は、「**通路**」や「**作業床**」で多く発生しています。
物につまずいたり、床・地面が濡れていたりすると、特に転倒災害が発生しやすいと言えます。

また、冬季においては、**雪・凍結による「すべり」災害が多く発生しています。**

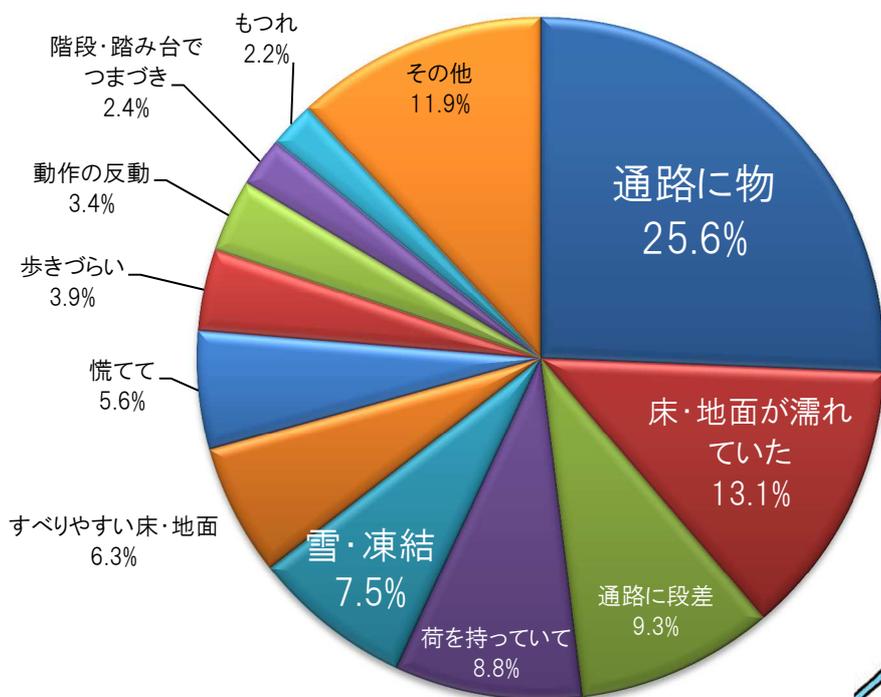


図-7 転倒災害における具体的な作業内容別労働災害発生状況(平成29年)
資料:労働者死傷病報告

日頃から意識して転倒災害を防止しましょう!

👉 **4S(整理・整頓・清掃・清潔)を徹底しよう!**

👉 **濡れた床面に気を付けて!**

雪道や凍った道は小股で歩こう!

👉 **転倒危険場所を「見える化」しよう!**

👉 **ポケットに手を入れて歩かない!**

👉 **路面や床面に合った靴を履こう!**

👉 **時間に余裕を持って行動しよう!**

👉 **日頃から足腰を鍛えよう!**



あなたの職場は大丈夫？転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input checked="" type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

チェックの結果はいかがでしたか？ 問題のあったポイントが改善されれば、きっと作業効率も上がって働きやすい職場になります。

どのように改善するか「安全委員会」などで、全員でアイデアを出し合いましょう！